

令和6年度 枚方市立杉中学校グランドデザイン（教育目標達成に向けて）

学校教育目標 = 『じりつ・共生・チャレンジ』

「自立・自律的に物事を考え行動し、他者と共生し、何事にもチャレンジできる生徒の育成」

めざす生徒像

- (1) 自ら学び、考え、行動できる生徒 (自立・自律) (2) 仲間とともに学び、考え、行動できる生徒 (共生) (3) 勇気をもってチャレンジできる生徒 (チャレンジ)

学習指導要領（平成29年3月告示）

3つの柱

- ① 学びに向かう力、人間性等
- ② 知識・技能
- ③ 思考力・判断力・表現力等

学校に求められる2つの要素

- ① 現実の社会との関わりのなかで毎日の生活を築き上げていく場
- ② 未来の社会に向けた準備段階の場

生徒指導提要

生徒指導の実践上の視点

- ア 自己存在感の感受
- イ 共感的な人間関係の育成
- ウ 自己決定の場の提供
- エ 安全・安心な風土の醸成

本校生徒の実態（R5年度学校教育自己診断等より）

- ・自分で計画を立てて学習している。（15%）
- ・生徒会活動に積極的に参加している（27%）
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたい（34%） 数値はすべて「よくあてはまる」の割合

何を目指し、どのように育成するのか

育成ポイント

- ① 自立・自律
- ② 他者との共生
- ③ 未知・困難への挑戦

育成ポイントを踏まえた学習支援

- ・現実社会とつながる課題設定
- ・他者とともに課題に向かう協同学習の推進
- ・非認知能力の育成へのアプローチ

育成ポイントを踏まえた生徒支援

- ・授業と家庭学習のシームレスな学びの支援
- ・生徒会活動を軸とした自治力の育成支援
- ・地域、企業等連携でのリアルな社会との出会い

○「誰もが誇れる学校～自信と信頼」 学校・家庭・地域との連携・協働 ○

超高齢化社会、2035年問題、AI…われわれ大人がこれまで経験したことのない未来を生き抜かねばならない子どもたちのために、周りの大人たちが、何ができるのかを一緒に考え、行動する。

学校 — 家庭

支援についての方針と情報の共有（学校だより・ブログ、授業参観・懇談、学校教育自己診断）

学校 — 地域

PTA、地域教育協議会を中心とした地域コミュニティとの情報共有、協力体制の構築

めざす教師像

- (1) 「じりつ（自立・自律）した人間が集まり、それぞれが自分の役割を全うできるよう努力し、互いに補いあってより強固な力を発揮できる組織
- (2) 社会全体とつながりを持ちながら貢献できるこれからの時代を担う人間を育成できる組織
- (3) 既存の概念にとらわれず、新しい価値観や物事を創造し、チャレンジしていく組織